

【RI水分計によるフレッシュコンクリートの単位水量連続測定(認定区分FA)】

研修・試験のご案内

一般財団法人 日本建築総合試験所

本認定制度は建設業務のさらなる適正化と、技能者の社会的立場の確立を目的として、コンクリートの現場試験業務が適正に行える能力を持つ技能者を認定・登録しています。

認定区分FAでは、(社)日本建材・住宅設備産業協会の団体規格 JCMSⅢ-C2309「ラジオアイソトープ水分計によるフレッシュコンクリートの単位水量連続測定方法」による測定が、適正かつ円滑に実施できる現場試験技能者を認定しています。本認定制度をご利用いただき、技能の修得、また専門知識の向上にお役立てください。

1. 申込期限

2018年6月29日(金) 必着

2. 開催地および実施日時・定員・会場

開催地	実施日		時間		定員	会場
大阪	研修	2018年7月21日(土)	9:30~17:00		12名	(一財)日本建築総合試験所(GBRC) 神戸試験室 (兵庫県神戸市中央区港島南町 3-3-7)
	試験	2018年7月28日(土)	実技	9:00~17:00のうち 約60分/人		
			筆記	12:15~13:15		

3. 研修・試験の内容

	講義	実技
研修	<単位水量一般> ・コンクリートの各種物性・耐久性と単位水量 ・単位水量測定技術の現状 ・単位水量の管理・検査 <測定方法について> ・JCMSⅢ-C2309「ラジオアイソトープ水分計によるフレッシュコンクリートの単位水量連続測定方法」の説明 ・測定原理、測定機器の説明および取扱い手順、放射線の話など ・検証実験結果、現場適用事例	測定機器の説明 室内校正試験 ・測定機器の取り付け ・室内試し練りコンクリートによる実測 擬似現場測定 ・測定機器の取り付け ・擬似データによる測定 点検方法の説明
	筆記	実技
試験	学科研修の内容 ・単位水量一般 ・測定方法について ・その他	・擬似データによる実技(室内校正&現場測定) 機器の取付け、測定、記録、結果の報告 ・口頭試問(1~2問) ・その他

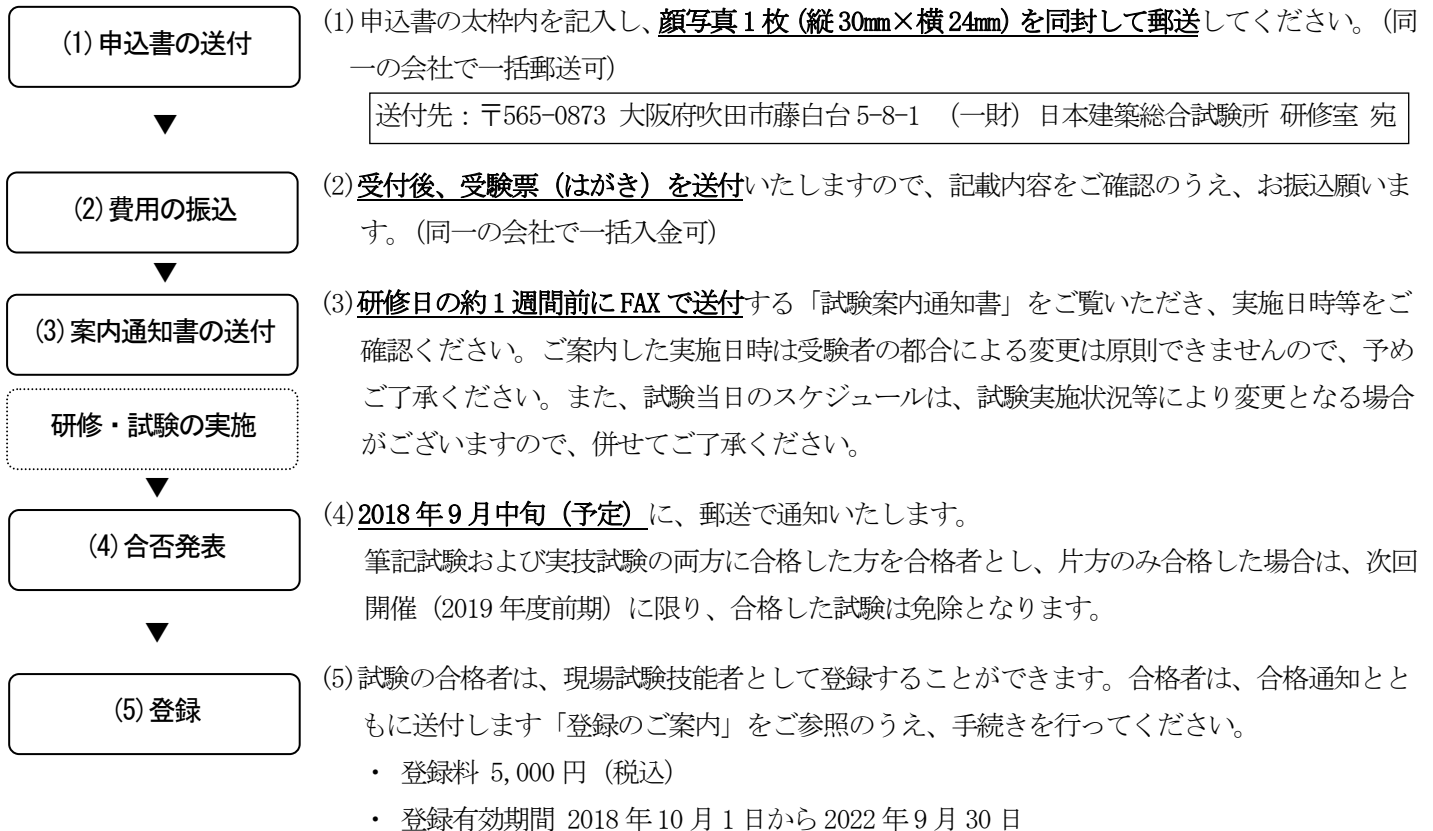
4. 受験資格：以下の①および②または①および③に該当する方。

- ①研修を受講した方。
 - ②フレッシュコンクリートの受入検査（認定区分F）」の認定登録者。
 - ③RI 水分計によるフレッシュコンクリートの単位水量連続測定（認定区分FA）」と「フレッシュコンクリートの受入検査（認定区分F）」を同時に受験する方。*
- *詳細については別紙「認定区分FAにおける受験資格および認定登録資格について（改定）」をご覧ください。

5. 費用（税込） ※各開催日の前日までにキャンセルのご連絡がない場合、費用の払戻しは致しません。

研修 20,000 円（テキスト代込）、実技試験 5,000 円、筆記試験 5,000 円

6. 申込から登録までの流れ



【サーベイランスおよび登録の更新について】

サーベイランス：登録有効期間の中間期（登録から約2年後）に受験していただく必要があります。（詳しくは、ホームページをご覧ください）。

登録の更新：サーベイランスにおいて「適正」と認められ方のみ更新試験（実技試験）の受験が可能です。更新試験に合格し、登録手続きをとることにより登録が更新されます。

いずれも、対象者の方には随時ご自宅へ案内を送付いたします。

7. その他

会場へのアクセス詳細については、当法人のホームページでご確認ください。

【問合せ先】（一財）日本建築総合試験所 試験研究センター 研修室

〒565-0873 大阪府吹田市藤白台5-8-1

TEL 06-6834-4775 FAX 06-6872-0413

ホームページアドレス <http://www.gbrc.or.jp/training/sitec/>



SiteC ページの二次元コード

認定区分 FA における受験資格および認定登録資格について(改定)**○FA の受験資格**

「①FA の直近の研修受講者」かつ「②F の認定登録者あるいは同時受験者」*

●FA の認定登録資格

「①FA の直近の試験合格者」かつ「②F の認定登録者あるいは同時受験の試験合格者」*

*【解説】FA の受験時に F の認定登録者でない場合でも、FA と同時期に F を受験（F と FA の同時受験）し、両者の試験のいずれにも合格すれば FA の認定登録資格を付与します。なお、FA の認定登録のみを希望される場合は F の認定登録（手数料必要）までする必要はありませんが、F の資格が必要な場合は F の認定登録を行ってください（表-1 参照）。

また、同時受験において、F が不合格の場合は FA の認定登録資格は認められませんので、たとえ FA が合格しても FA の認定登録はできません。なお、FA の合格は次回開催以降の認定登録においては無効となります。次回開催以降で FA の認定登録を希望される場合は、再度 FA の筆記および実技試験を受験して頂く必要があります。ただし、研修は次回開催に限り受験の必要はありません（表-1 参照）。

表-1 同時受験における FA の認定登録までの主なパターン

パターン	区分	同時受験		注意事項
		試験	認定登録	
A	F	○	不要	FA の認定登録のみ必要な場合は登録不要
	FA	○	可	認定登録可
B	F	○	必須	FA の試験合格まで認定登録の維持（更新維持）必要
	FA	×	—	FA の試験合格まで受験
C	F	×	—	F の試験合格まで受験
	FA	○	不可	FA の試験合格者でも、F の認定登録者あるいは同時受験時の F の試験合格者でないと FA の認定登録はできない。 なお、FA の試験合格は次回開催以降の認定登録においては無効。再受験が必要。再受験では次回開催に限り研修受講は必要なし。

【記号の説明】○：試験合格、×：試験不合格

注) 開催頻度は、F は 2 回/年（前期・後期）、FA は 1 回/年（前期のみ）。

◆FA の認定登録の維持について

FA の認定登録を維持する場合、これまでは F の認定登録の維持（更新維持）が必要でした（F を失効すれば FA も自動的に失効）が、この度、その制限がなくなりました。従いまして、FA の新規での認定登録時には F の認定登録者あるいは同時受験時の F の試験合格者のいずれかは必要ですが、FA の認定登録の維持の際には F の認定登録を維持している必要はありませんのでご注意ください。

FA および F の認定登録はそれぞれ独立していますので、両者が必要な場合は、それぞれの区分で認定登録の維持（更新維持）を行ってください。